

◆ 今月のトピックス ◆

平成29年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催

平成29年度の北陸建設業協会地域懇談会は、10月17日(火)午後2時30分から富山市のホテルグランクラス富山において、国土交通省、全国建設業協会、富山県・石川県・新潟県建設業協会の関係者70名の参加のもと開催された。

会議は冒頭、開催県である富山県建設業協会竹内 繁会長が挨拶で、事業量の地域間、企業間格差の拡大により、地域建設業が社会的使命を果たすことが困難になってきていることから、来年度予算の増額確保、公共事業予算の持続的・安定的確保を訴えた。続いて

国土交通省建設流通政策審議官	青山由之
国土交通省大臣官房技術審議官	五道仁実
一般社団法人全国建設業協会長	近藤晴貞

の各氏が開会の挨拶を行い、全国建設業協会伊藤 淳専務理事の司会で、国土交通省、(一社)全国建設業協会、北陸建設業協会から提出された次の議題で意見交換を行った。

国土交通省提出議題

1. 建設産業の持続可能性の確保

建設産業における働き方改革等の適用に向け、下請けも含めた長時間労働の是正や週休2日制の推進を図るため推進すべき課題は何か

建設生産システム全体における生産性向上等の改善

2. 「担い手3法」の取組の推進（適正な予定価格の設定、ダンピング対策の実施、施行時期の標準化等）

3. 建設工事の安全の確保

建設職人基本法の制定を踏まえ、建設工事に係る死亡事故を防止し、工事の安全を確保するため、どのような取り組みが必要か。

全国建設業協会提出議題

1. 事業量確保と経営の安定化

平成30年度の当初予算の増額要求と平成29年度大型補正予算の早期編成

地域ごとに中長期的な事業量の見直し。地域防災力の維持向上のため県・市町と議論できる場が必要
適正利潤の確保

2. 働き方改革、担い手確保

(1) 週休二日制普及促進

(2) 生産性向上

ICTでの小規模工事での有用性、先行投資への不安、オペレーターの能力低下

施工時期の標準化、監理技術者の専任義務の解除

書類の大幅簡素化、検査・立ち合いの効率化、発注条件と異なる工事の排除

(3) 時間外労働上限規制

除雪業務も自治体からの要請で時間外に行われるものは労基法33条による例外適用

北陸建設業協会提出議題

1. 公共事業予算の持続的・安定的確保について（富山県協会）

2. 低入札価格調査基準の見直しについて（富山県協会）

3. ICT活用工事を推進するための国の取り組みについて（石川県協会）

4. 週休二日制導入に向けた国の取り組みについて（適正工期、適正な予定価格、民間発注者への指導）（石川県協会）



今回の懇談会の意見交換で、当県の吉光武志会長は懇談会の議題となった働き方改革では、「週休二日制の導入は担い手確保のためにも重要な取り組みである。しかしながら実施するには不稼働日も含めた適切な工期設定 技能労働者の収入減にならないような労務単価のアップ 工期が長くなることによる機材のリース料など共通仮設費や現場管理費の更なるアップ等の課題について特段のご配慮をお願いしたい。」また生産性の向上のICT活用工事では「今後、業界としては生産性の向上を図り永続的に企業経営を行うためには避けて通れない取り組みである。施工実績のある企業からは、1000㎡程度の小規模な工事では、1日当たりの工事量が少なく、リースした機械が実際は2～3時間程度の稼働しかなく設計内容を3次元化するための外注費が出ない。などの声があり、今後本格導入されるにあたり、現場実態に即した単価、歩掛り、諸経費など積算基準の改善をお願いしたい。」と意見を述べた。

なお、今回の地域懇談会の各機関・団体の出席メンバーについては次の通り。

国土交通省

大臣官房 建設流通政策審議官	青木 由之
大臣官房 技術審議官	五道 仁実
土地・建設産業局 建設業課長	平田 研
大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長	常山 修治
北陸地方整備局 局長	小俣 篤
北陸地方整備局 次長	佐々木 宏
北陸地方整備局 総務部長	藤田 昌邦
北陸地方整備局 企画部長	渡辺 学
北陸地方整備局 建政部長	牧野 浩志
北陸地方整備局 地方事業評価管理官	倉重 毅
北陸地方整備局 総務部 契約管理官	小幡 義則
北陸地方整備局 企画部 技術管理課長	松永 和彦
北陸地方整備局 建政部 建設産業調整官	秋山 勉
北陸地方整備局 建政部 建設業適正契約推進官	辺見 和美
北陸地方整備局 健政部 計画・建設産業課長	愛内 友治
北陸地方整備局 富山河川国道事務所長	福濱 方哉

(一社)全国建設業協会

会長	近藤 晴貞
専務理事	伊藤 淳
常務理事	若山 勝行
技術顧問	畠山 慎一
総務部次長	関澤健太郎
事業第二課長	大濱 和寛
事業部調査役	金丸 信一
労働課係長	吉田 隼三

(一社)石川県建設業協会

会長	吉光 武志
副会長	小倉 淳
副会長	平櫻 保
副会長	江口 介一
副会長	鶴山 庄市
以下21名	

(一社)富山県建設業協会

会長	竹内 茂
副会長	山本 隆
副会長	高田 均
以下15名	

(一社)新潟県建設業協会(オブザーバー)

会長	植木 義明
専務理事	笠原 悟

最近の完成工事から

主要地方道宇出津町野線 おも 小間生バイパスの開通

石川県奥能登土木総合事務所

1 はじめに

主要地方道宇出津町野線は、能登町宇出津と輪島市町野町を結び、本県の「ダブルラダー輝きの美知」構想において、東西幹線の多重化を図るため、新たに「奥能登横断道路」として位置づけるなど、能登地域の生活、産業、観光を支える大変重要な道路です。

このうち、二級河川町野川に架かる小間生橋については、幅員が狭く、道路も直角に曲がっており、バスなどの大型車の通行に支障が生じていたことから、平成25年度より小間生橋とその前後の区間を含むL=1.0km についてバイパス整備を進めてきた結果、今般、小間生バイパスが開通しました。(図-2)



図-1 奥能登横断道路位置図



図-2 小間生バイパス平面図(航空写真)

2 事業概要

路線名：主要地方道宇出津町野線

事業箇所：鳳珠都能登町宇小間生地内

延長：L=1.0km

道路区分：第3種第3級

幅員：W=6.0(9.5)m

主要構造物：小間生橋(L=63.9m)

2径間連結ポストテンション方式PCT桁橋

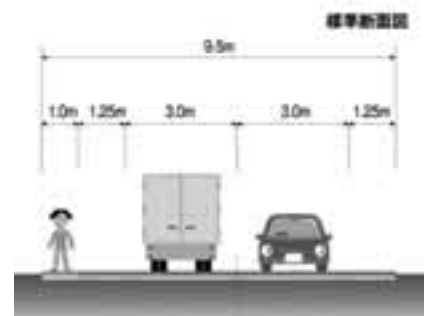




写真 - 1 全景（宇出津側から町野方向を望む）

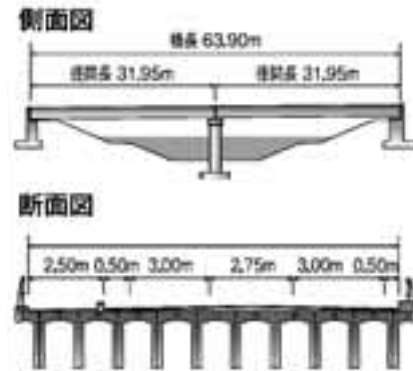


図 - 3 小間生橋 側面図・断面図

3 事業の効果

小間生バイパスの開通により、以下の整備効果が期待されます。

円滑な交通の確保

幅員が狭く、折れ曲がった道路線形の解消により、能登町役場や公立宇出津病院へのアクセスが向上します。

安全・安心の確保

小間生橋に新たな歩道が設置され、安全な歩行空間が確保されます。

交流人口の確保

珠洲道路やのと里山海道等と一体となり奥能登の周遊性が向上し、交流人口の拡大が期待されます。

4 事業の特徴

小間生バイパスの整備にあたっては、建設業における就業者の減少や高齢化の進行により、将来にわたる担い手の確保が課題となっていることを踏まえ、本県発注の舗装工事で初めて、ICT 建設機械を採用しました。これにより、従来に比べて施工効率が2割向上するなど、より効率的で安全に工事を進めることができました。



写真 - 2 ICT 施工による舗装工

5 おわりに

平成29年10月7日に、知事や能登町長をはじめ、多数の関係者の列席のもと、盛大に開通式が執り行われました。

今回の開通により、能登半島の外浦地域と内浦地域を結ぶルートが強化され、奥能登の数々の観光地や施設へのアクセスが向上し、地域の発展に大きく寄与するものと考えています。

最後になりますが、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。



写真 - 3 開通式での記念撮影

平成28年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：和田内潜建株式会社

工事名 七尾港
浚渫土砂埋立護岸整備工事
(護岸工)(その1)

工事分野 港湾漁港工事

施工場所 七尾市大田町 地先

工事概要

矢板護岸工 L=25.2m

中詰工 V=320m³

裏込工 V=353m³

工期 平成27年10月21日～平成28年3月10日

推薦理由

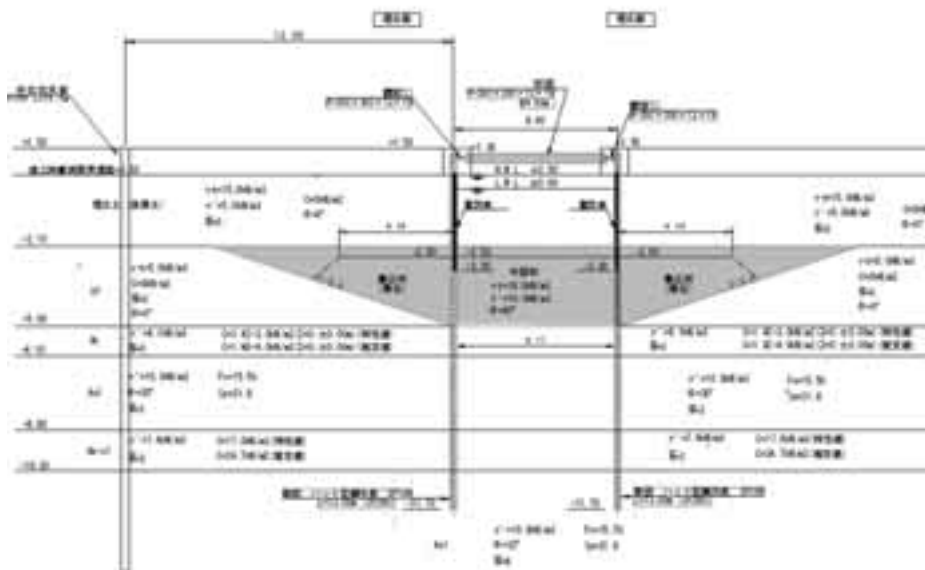
本工事は、浚渫工事で発生する土砂を受入する箇所の護岸整備を行うもので、海上での鋼矢板打設時には、鋼矢板を誘導する器具を用いることで作業の安全性の向上に努めた。また、中詰材や裏込材を投入する際には通常より小さいバケットを用い、打設後の鋼矢板に変位が起これないようにするなど、良好な出来栄で工事を完成させた。



完成写真



セクション誘導器具の使用





矢板変位防止用仮切梁設置（ジャッキ付）



鋼矢板打設状況

グラブバケツ（1.0m³級）使用による投入

ワイヤーモッコ使用による中詰石投入（矢板防食部保護対策）

現場代理人のコメント

現場代理人
中谷一樹氏

この度、知事表彰の栄を賜り心より厚く御礼申し上げます。

本工事は軟弱地盤層での海上施工による鋼矢板打設を主体とする工事であり、近接既設鋼矢板護岸及び新設矢板の変位に留意しての施工となりました。

床堀時においては床堀影響線が既設矢板の受動土圧に影響をおよぼす過掘とならないよう慎重に行うとともに、施工中常時変位観測を行いながらの施工としました。（既設矢板許容変位量30cmに対して最終変位は5cmでの施工完了となりました。）

矢板打設時では災害事故の可能性が最も高いセクション誘導時における作業では、セクション誘導器具を用いて施工を行い、無事故・無災害での完了となりました。

中詰・裏込石投入はバケツ使用による投入となることから、本設切梁（防食加工、@4.5m）施工後では十分な作業空間が確保できないことから後施工とし、別途矢板変状対策としてジャッキ付仮切梁（@10.0m N=3）を設置して矢板頭部の固定を行いました。

投入に使用するバケツは作業可能空間を考慮して小径の1.0m³バケツを使用するとともに、防食済矢板保護として矢板近接部の投入は別途ワイヤーモッコによる投入を行い、変状・損傷なく工事を終えることができました。

最後になりましたが、発注者である七尾港湾事務所の皆様、地元住民の皆様、並びにすべての工事関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

雇用改善コーナー

工業系高校生（金沢市立工業高等学校）の現場見学感想文

見学現場 椎木・北浦トンネル、能越自動車道中道路その5工事

『トンネルを作るためたくさんの機械が必要と分かりました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 笹川翔太

私は初めに、1,107mある椎木・北浦トンネルを見学しました。今回はトンネルの中を見学してみて、トンネルを作るためにはたくさんの機械が必要だという事が分かりました。トンネルができるまではまず掘削して、そのあとにロックボルトや吹付けコンクリートで掘削面を補強し、防水シートで補強面を覆い、スライディングセントルという円形の型枠機械でコンクリートを打設してやっと完成できるのだと分かりました。さらにトンネルの周辺にはたくさんの見どころがあると分かりました。



椎木・北浦トンネルが完成することで輪島から金沢へのアクセスが飛躍的に向上することが分かりました。

トンネルを見学した後、ICT土工の現場に行き、マシンの動かし方を習い、動かしたり、ICT土工の流れを教えていただき、どのようなものか分かりました。

ICT建設機械は少しずれただけでも電波が悪くなることもあることも知りました。

ICT土工にはとてもたくさんの時間がかかることとお金もかかることが分かりました。

今回現場見学をしてみて、自分が思っていた以上に大変そうだったので驚きました。また、またこの仕事の大変さを知り、これからこういった工事にかかわっている方に感謝していきたいと思いました。

『バックホウやブルドーザなどの重機の簡単な操作をさせていただきました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 中川 翼

輪島市門前町の羽咋郡市門前基幹農道、椎木・北浦トンネルと一般国道470号能越自動車道、長沢道路の現場見学させていただきました。椎木トンネルは全長1,107mあり、楡原層では機械掘削、花崗岩層は発破掘削でトンネルを掘っていることが分かりました。掘削が一部終わると、支保工や吹付けコンクリート、ロックボルトで掘削面を補強する作業を繰り返し行っていることが分かり、防水工、覆工を経て完成していることを知りトンネルを作るのにも多くの時間がかかっていることを知りました。

一般国道470号線ではICTについてお話を聞かせていただいたり、バックホウやブルドーザなどの重機の簡単な操作をさせていただきました。ICT土工についての説明では3次元測量、3次元設計データ作成、ICT建設機械による施工、3次元出来形管理等の施工管理といった一連の仕事が行われていることを知りました。

このような重機に触れる体験は大変貴重なことだと思いとてもよかったと思います。また現場見学をする機会があればうれしいです。

『今回の現場見学で土木の仕事を身近に感じる事ができました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 前崎光空

まず最初に椎木トンネルの見学に行き、トンネルの中にはいろいろな重機がありすごく大きく驚きました。その重機で少しずつ土砂を掘削してそれから支保工や吹付けコンクリートで補強してトンネルを作っていることを知りました。トンネルの中に空気を通す管があり、全長で1,107mもあることを知り驚きました。完成までに33カ月かかると知り、大変な作業をしているのだなと思いました。このトンネルができることで地域が活性化して、より生活しやすくなればいいなと思います。



次に、輪島道路の工事ではICT土木という工事方法が使われていると知りました。これはドローンによる3次元測量、そのデータによりICT建設機械を自動制御して工事を行う方法だと知りました。これにより検査の書類が少なくなり、とても効率が悪くなっていいと思いました。技能労働者が不足している今、この方法はとても優れていると思いました。

工事をするにあたりこんなにコンピュータ化しているとは思いませんでした。初めて大型重機の操作を体験してみて楽しかったです。少し力を加えたりボタンを押したりするだけで動くのがすごいと思いました。

今回の現場見学で私の知らなかったことをたくさん知ることができました。また土木の仕事を身近に感じる事ができたので良かったです。

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成29年度第2回より～

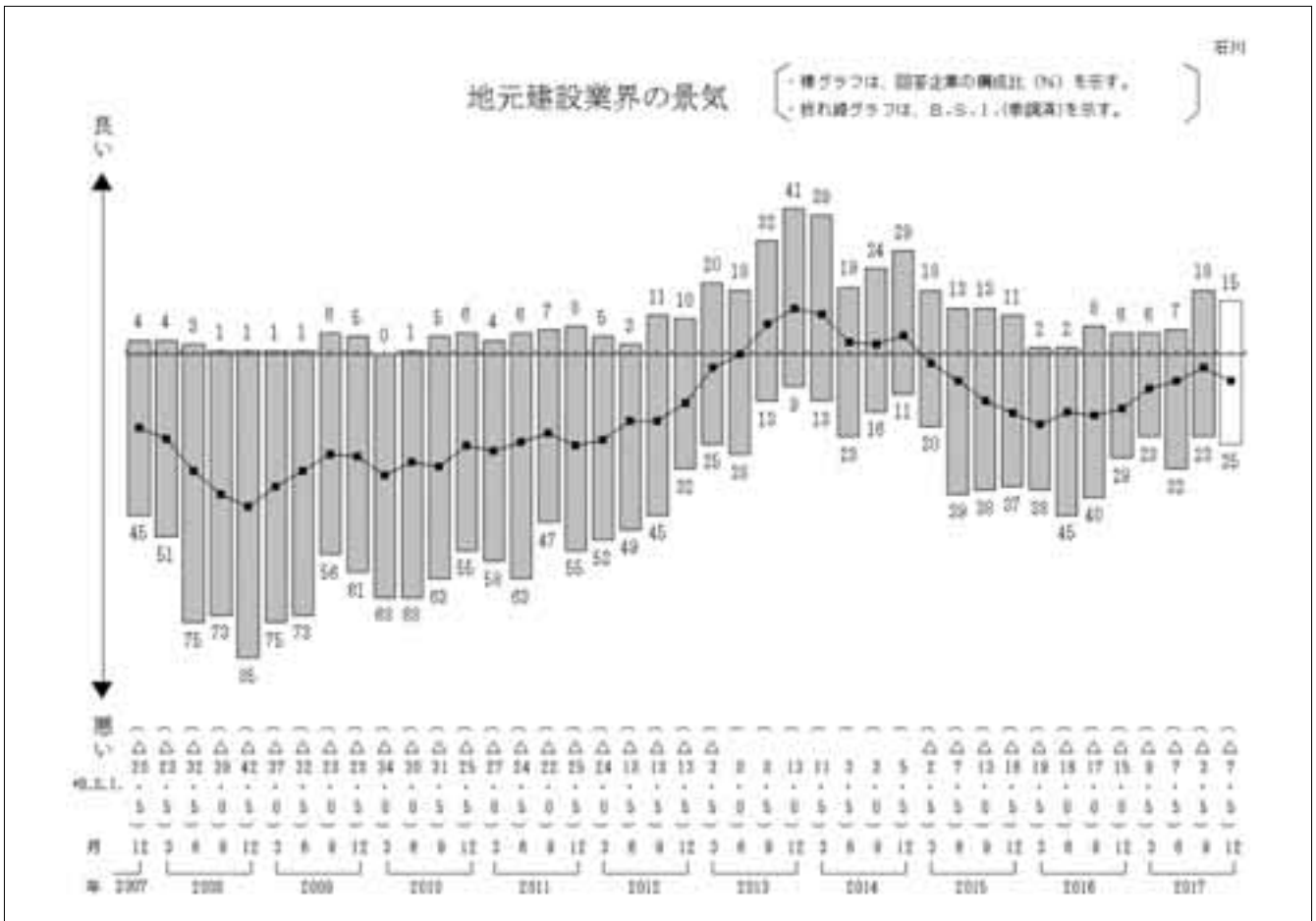
東日本建設業保証(株) 石川支店

今 期	悪い傾向がやや弱まっている。
	「悪い」の回答企業の構成比が「良い」を上回り、23%となっている。 B.S.I.では 3.5 (前期7.5) となっており、悪い傾向がやや弱まっている。

「今期」:平成29年7月～9月 実績

来 期	悪い傾向がやや強まる見通し。
	「悪い」の回答企業の構成比が「良い」を上回り、25%となっている。 B.S.I.では 7.5 (今期 3.5) となっており、悪い傾向がやや強まる見通し。

「来期」:平成29年10月～12月 見通し



【B.S.I.の見方】

「B.S.I.」は、企業の意識調査の結果を数値化したものです。

すべての企業が「良い」と見ているときは50、その逆はマイナス50、すべてが「変わらず」と回答したときは0になります。

地区協会コーナー

花とふれあいの未知づくり協議会

フローラルこまつ実施本部からの受賞

(一社)小松能美建設業協会

平成26年度において、石川県、小松市が推進している道路美化活動を支援するために、「花とふれあいの未知づくり協議会」を立ち上げて今年で4年目となり、春と秋の年2回四季折々の季節を感じる花を、国道360号の植樹帯に植えて参りました。

まちづくりの第1歩は、自分たちの街を自分たちで美しくすることから始まり、活動は参加してい

る人たちの連帯感の向上にもつながり、活動により地域への愛着を深め、快適な街づくりに発展する可能性を秘めた活動としておこなってきました。

当初の活動員につきましては、当協会の建青会が主体となって協会員のサポーターと花を植える沿線の町内会及び沿線企業数社の協力により行ってまいりましたが、その後において、幼稚園、小松市、(株)コ

マツの協力を得ることが出来、現在では、1回の活動人員数は120名程で行うことが出来るようになりました。

このたび、このように活動賛同者が増えていく中、花のまちづくりを顕著に実施されていることに対し、平成29年10月7日(土)にフローラルこまつ実施本部(小松市)から「フローラルこまつ花のコンクール大賞」(小松市主催)の田谷特別賞を受賞されました。



会員リレーコーナー

168 鈴木建設株式会社

(所在地：金沢市清川町5番3号)



社章

弊社は、昭和23年に祖父の鈴木菊男が鈴木組として犀川、桜橋のほとりで創業し、その後鈴木石産(株)、石川生コンクリート(株)、宇清商事(株)を興し、昭和49年に鈴木組を鈴木建設(株)に商号変更して、現在の鈴木建設グループの礎を築きました。

昭和59年に先代より社長職を引き継いだ父の鈴木宗幸は、土木工事業に加えて、建築分野へ本格的に参入するなど営業範囲を大きく拡大しました。

私が入社したのは平成15年でしたが、その数年後の平成19年に「懐かしく、新しく、住まう」をコンセプトとした住宅のオリジナルブランド「THEHOUSE 金澤」を発表し、住宅分野へも進出するとともに、社内にリフォーム部と不動産部を設置し、総合建設業としてあらゆる要望にお応え出来る体制を整えました。

ISOの取組もその一つを担っており、その中で当社では、持続可能な品質の向上と環境に優しい企業活動も展開しております。

優しい企業活動には、工事現場の周辺住民への感謝の気持ちを込めた「感謝の一斉清掃」や、広小路交差点から桜橋までの道路美化を推進する「アドプト活動」などの地域貢献活動があり、当初より精力的に続けております。

また、顧客満足度の向上と社員満足度の向上は、会社にとってのいわば両輪であり、企業としての社内の内部体制の再構築や社員教育には、積極的な取り組みを試みております。教育の一環として長く取組んでいるのが、「コミュニケーション能力向上」です。



社屋

毎週の朝礼の司会や3分間スピーチ、他にも、社内報の記事の投稿などを輪番制で行っています。話す力、書く力、伝える力、聞く力が養われ、その成果は、日々の営業活動の中で大いに生かされております。

しかしながら、今の時代は、深刻な人手不足が叫ばれ、働き方改革が唱えられています。

従来より、3Kと呼ばれる建設業は、新たな局面に直面し、次世代の雇用の確保をはじめ、問題は山積しております。私もイクボス宣言を行い、働き方改革をどのように進めたらよいかと、身をもっていろいろと模索しておりますが、私にとって最も大切なことは、社員の皆が、建設業を生業とする自社に自信と生き甲斐をもって働いていただけるよう、しっかりと舵取りをしていくことと強く感じております。

来る平成30年、当社はお陰様で創業70周年を迎えます。創業者である祖父が残り、父が経営理念に掲げた言葉「誠実」と「苦心楽愼」を、私もしっかりと継承し、建設業を通しての地域社会への貢献、お客様満足のさらなる推進、そして、共に創り上げてくれる社員の雇用に堅守し、次の10年をしっかりと歩むよう努めて参ります。そうして、当社の社内報のタイトルである、「星火燎原」のごとく、先代が灯した光を次の80年、100年と存続、発展していけるよう、努力を続けて参る所存です。

今回は東南建設(株)代表取締役 山本重雄さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(鈴木建設株式会社 専務取締役 鈴木規秀)

今月の「輝き！」さん
No. 32



池田建設工業株式会社 かずとも 池田万朋さん

業 種：土木部主任
経験年数：3年
年 齢：25歳

池田建設工業(株)は、羽咋郡志賀町清水今江に本拠を置く建設会社です。会社は現在羽咋郡宝達志水町の太陽光発電所の為の造成工事を行っています。本日はその現場事務所に今月の輝きさんの池田万朋さんを訪ねました。

- 随分と大掛かりな工事ですが、この工事の規模や特徴、またこの現場でのあなたの役割りについて紹介してください。

弊社は、2年前より伐採工事を担当し、昨年5月より造成工事が始まりました。本工事の規模は、切土量170万㎡、排水工35km、暗渠排水10kmもあり壮大な現場です。又、工事期間が短く、12月~3月は冬期閉鎖となる為、工程を達成する為、最盛期では、特大のブルドーザー、バックホウ、重ダンプトラック等50台余りが稼働し、協力会社も含め100名を超える人員が投入されました。またこの工事では、最新の土木技術であるICT(情報通信技術)システムを本格的に導入し、3Dレーザースキャナーやマシンコントロールを実践的に使用しました。

この工事では私は施工管理者として、現場代理人である大森所長のもとで測量、図面作成、施工管理を担当しています。

- お父さんが会社のオーナーで、あなたは後継者と聞きましたが、あなたの会社について、またあなたの経歴などをご紹介下さい。

私の会社は、昭和42年私の祖父であり会長の池田等がブルドーザー1台を持ち土木工事に参入したのが始まりです。現在会社は土木部、建築部、重機部、整備部に分かれ、120台に及ぶ重機を保有し、70名の社員が働いています。会社の得意分野は大型重機を用いた土木工事です。

私の経歴ですが、現住所は羽咋郡志賀町です。そこで三人兄弟の真ん中として育ちました。住所地では現在祖父母と父と弟との5人暮らしで、兄は結婚し家を出ています。小中学校は地元の学校に通い、高校は羽咋工業高校で土木を専攻しました。大学は大阪に出て経済学を学びました。当初から家業を継ぐつもりはなかったため、卒業後の職業として警察官にあこがれたりしましたが、自分の将来について真剣に考えたことがきっかけで、会社の後継者が必要なことに気づき、現社長、会長の後を継ごうと強い信念を持ち大学卒業とともに、故郷に帰り池田建設工業(株)に入社しました。高校を選ぶとき「羽咋工業高校に入学すればラグビーができる。」という父の甘言で工業高校を選びましたが、建設業に携わるとその経験が役立ち、入社後間なく土木2級の施工管理技士の資格を取得しました。今思うと工業高校への進学は、父の戦略でなかったかと思えます。

- あなたの当面の目標や将来に向けた夢を聞かせて下さい。

実務が実戦の場なので、毎日勉強の必要性をひしひしと感じています。これから主流となるICT施工の技術の習得、一級の施工管理技士の資格の取得、コミュニケーション能力の向上の他、会社の将来を考えると建築部門を強化するため建築の勉強など課題はさまざまです。

- 独身と聞きましたが結婚観や趣味について教えてください。

取り組むべき課題が多く結婚について深く考えたことはありませんが、よきご縁があればと思っています。趣味ですが目下のところゴルフでしょうか、ラグビーについては、大学卒業とともにやめました。

温和で物静かながら強い向上心が印象に残りました。「努力を続ければ夢は目標に変わる。」野球人イチローの言葉です。三代目建設マンの成就を祈念申し上げます。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

県9月補正予算の知事お礼

10月17日(火) 吉光会長はじめ、副会長、常置委員長で県の9月大型補正予算に対し谷本知事、中西副知事、竹中副知事、山岸土木部長にお礼を申しあげた。

県では投資的予算としては19年ぶりの大型予補正予算(105億円)となり、金沢港、道路整備など下半期に向け、順次発注するとのことであった。

知事からは、「石川県は現在インフラ整備の真っ只中である。金沢港は地の利の良さで今後さらに活性化するだろう。のと里山海道の4車線化は工事が見え、期待感が持てるのが良い。また、河川の土砂の除去は即効性があり地方創生のお手本みたいな工事だ。」などのコメントを頂いた。40分間ほど和やかに懇談し、知事さんからはインフラ整備に対する力強いお言葉を頂いた。



委員会の開催

土木委員会

工事点検パトロール班長会議(前期)の開催

土木委員会安全対策部会(部会長 林 登良夫)は、去る10月6日(金)に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長と工事点検パトロール班長による会議を開催した。この班長会議は、11月9日(木)に実施する「平成29年度工事点検パトロール」に向けての関係機関等と調整や対応すべき事項について、事務局から説明のあと審議が行われ、閉会した。

主な議題内容・審議事項は以下のとおりです。

班長推薦者の任命

- ・安全対策正副部会長会議で推薦を受けた班長を部会長から任命した。

平成29年度工事点検パトロールの実施日について

- ・南加賀班、白山石川班、県央班、中能登班、奥能登班の実施日を11月9日(木)、予備日を11月10日(金)に決定した。

工事点検パトロールの各班構成員選出について

- ・各班構成員を選出し、了承した。

平成29年度工事点検パトロール実施要領について

- ・班長の役割、対象工事の選定方法、関係機関との調整など、パトロール実施に向けての必要事項を確認した。

実施に向けてのスケジュール確認

- ・工事点検パトロール実施に向けて、対応すべきスケジュールを確認した。

班長会議(後期)の開催日程について

- ・12月8日(金)に班長会議(後期)を開催することとした。



役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、去る10月12日（木）に石川県建設総合センター会議室において、第3回役員会を開催した。今回の役員会は11月21日（火）に行う「石川県土木部との意見交換会」の提案課題について審議を行うものである。会議では、7月に実施した「各地区協会と土木委員会との意見交換会」で提案のあった49課題についてテーマ毎に審議を行い、18課題を意見交換会の提案議題として抽出・選定した。また、これから年度末に向けて計画されている各種行事の開催日程について、確認及び調整を行い散会した。

主な議題及び審議内容は以下のとおりである。

1. 石川県土木部との意見交換会議題について

提案課題の審議及び課題の抽出・選定

入札契約関係	5 議題（提案）	3 議題（選定）
総合評価関係	9 議題（提案）	1 議題（選定）
設計積算関係	21 議題（提案）	10 議題（選定）
施工関係	4 議題（提案）	0 議題（選定）
監督検査関係	4 議題（提案）	2 議題（選定）
その他	6 議題（提案）	2 議題（選定）

2. 今後計画されている主な行事の開催日程について

工事点検パトロール

開催日：平成29年11月9日（木）

石川県土木部との意見交換会

開催日：平成29年11月21日（火）

工事点検パトロール班長会議（後期）

開催日：平成29年12月8日（金）

金沢河川国道事務所と懇話会との意見交換会

開催日：平成29年12月20日（水）

新年会

開催日：平成30年1月26日（金）

金沢河川国道事務所との意見交換会

開催日：平成30年2月6日（火）



建築委員会

中央病院見学会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は、10月26日（木）中央病院建設推進室のご厚意で県立中央病院見学会を委員17名の参加で開催した。

現場では県健康福祉部の長谷川康之参与、県立中央病院建設推進室の北川 睦（建築担当）と矢尾 満（設備担当）の両課長補佐より整備工事の説明を受けた。

中央病院は現在の病院が老朽化、狭隘化しており、度重なる増築等により動線が長く複雑化したことなどにより、加賀、能登地区からもアクセスのよい現在地で建て替えているものであり、最新の高度専門医療を県民に提供する「高度専門病院」を目指していると説明を受けた。

現在は工事は完了し、医療機器の取り付けや備品の搬入中であり、年末年始期間中に患者さんの引っ越しを行い来年1月の開業に向けて最終調整中であった。

現地では診療部門や開院してからは入れない又は入りたくない女性専門外来や手術室、ICU、HCUや小児病棟、一般病棟等を見学した。特



に病棟は全てのベッドサイドに十分な採光がとれる窓を設けた「個室的な4床室」とされていた。最上階に設けられたヘリポートや地下部分に設けられた免震装置も見学し、最新の医療施設に理解を深めることのできた大変有意義な見学会となった。

土地改良委員会

家畜伝染病防疫訓練の実施

石川県主催（(公社)石川県畜産協会共催）の家畜伝染病防疫訓練は、高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫が発生した際に、迅速かつ的確な防疫対応を行うための訓練で、当協会土地改良委員会は県と「口蹄疫等の発生時における緊急対策に関する基本協定」を平成23年5月に締結しております。

10月5日(木)午後12時30分からの訓練は晴天に恵まれ、のと里山空港敷地内の輪島市空港交流センター及び奥能登行政センター車庫を訓練会場に、畜産関係団体、北陸農政局、自衛隊、県、市町など防疫従事者と視察者を合わせ約150名が参加した。

本年度の訓練は、奥能登行政センター車庫を高病原性鳥インフルエンザ発生農場とみなし、輪島市空港交流センターに集合した防疫従事者30名は、健康調査を受けたのち防護服を着衣して、発生農場（奥能登行政センター車庫）へバスで移動し、農場の消毒、生きた鶏を使用した模擬の殺処分、処分鶏（ダミー）の埋却など、防疫サポート員（約50名）の指導により実践さながらの訓練を行った。

特に、土地改良委員会会員企業（昭和建設(株)）の協力による処分鶏の埋却訓練は、事前に掘削した地表より深さ4m、低面の幅4m長さ5m程度の埋却溝に、訓練当日は会員企業のオペレータにより、バックホウでの処分鶏の投入と消毒剤（消石灰）散布の訓練を行った。



発生農場での訓練



埋却処分状況

技術検討部会の開催

平成29年度第1回目の土地改良委員会技術検討部会(部会長 小柳 誠)が10月13日(金)に石川県建設総合センター401会議室で開催された。技術検討部会は、石川県より農林水産部技術管理室長の北出一郎様にご臨席いただき、小柳 誠部会長他15名の幹事出席のもと、次の通りの議題審議を行った。



1 平成29年度の事業計画について

- ・「現場研修会」、「県農林水産部などへの要望」、「県農林水産部との意見交換会」、「土地改良委員会全体会議」の各事業について開催時期や事業内容について了承された。
- ・特に、近々開催予定の「現場研修会」については、11月20日(月)に北陸農政局手取川流域農業水利事業所管内の白山市鶴来で実施されている「国営かんがい排水事業 手取川流域地区」における宮竹サイホン改修工事と白山頭首工工事の現場研修についての実施案を承認し、委員への募集を開始することを決定した。

2 その他の情報提供について

- ・北出室長より、10月1日からの工事に適用される「自主施工工事実施要領(試行案)」、「施工箇所が点在する工事の積算方法に関する試行」、「工事写真における黒板情報電子化の試行」の概要について等の情報提供がなされ、また、農林水産部発注の金抜き設計書のEXCELファイルからPDFファイル形式への変更を平成30年4月1日より実施したい旨のお願いがなされた。
- ・また、平成30年度の農林水産省概算要求などの予算状況や、県農林事務所ごとの土地改良工事落札率の過去3ヶ年間の推移などが事務局から報告され、その後、北出室長と土日休日工事の試行の現状などについて意見交換を行い閉会した。

県央農林安全対策協議会研修会の開催

県央農林安全対策協議会（会長 小柳正彦）は、10月31日（火）に平成29年度役員会及び研修会を開催した。

小柳会長を始め会員22名と、行政から金沢労働基準監督署の米谷英一安全衛生課長、県央農林総合事務所の奥本 勉所長を始め8名の職員に、事務局（森林土木協会、建設業協会）2名の総勢32名参加のもと開催された。

本年度は、例年実施していた現場パトロールの現場がないとのことで、金沢労働基準監督署の米谷課長による講演会だけの研修となった。

研修会は、小柳会長の挨拶の後、奥本所長からの挨拶で始まり、米谷安全衛生課長を講師として、「工事の安全対策について」と題して講演が行われた。

米谷課長の講演では、県内などの労働災害の動向や足場・法面などからの墜落事故防止などを厚労省として本年度の重点的対策としていること、転倒災害を撲滅するため「STOP！転倒災害プロジェクト」を事業所における自主点検の実施とその報告書の提出などにより労働災害防止団体と共に進めていること、また、実際の事故例を分かり易く熱心に説明がなされた。

個々人の普段からの安全管理の重要性を再認識するため、毎年このような研修会を開催する必要があると感じる有意義な研修会であった。



研修会状況

広報・研修委員会

企画部会の開催

広報・研修委員会の企画部会（部会長 高田直人）が10月24日（火）午前10時30分から石川県建設総合センター401会議室において開催された。

冒頭高田部会長の挨拶に引き続き、下記議題に関する審議及び報告が行われた。

- 1 協会報11月号について
事務局提出の協会報11月号の編集計画が了承された。
- 2 建設技術研修所からのお知らせ
登録解体工事講習会の開催結果について
2級土木施工管理技術検定（学科・実地）受験準備講習開催結果について
建設業税務講習会の開催案内について
- 3 その他
次回は講習会を兼ねた委員会を金沢市内で開催することが決められた。
研修旅行の作業の進捗状況について説明が行われた。



建設青年委員会

いしかわのこどもみらいキャンペーン秋祭り ～はだしの王国 奥卯辰山2017への参加～

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、10月9日（月）午前10時より奥卯辰山健民公園にて開催された「はだしの王国 奥卯辰山2017」に石川県土木部、石川工業専門学校と連携し、共同で参加した。



イベントでは、「目指せ！土木・建築エンジニア」と題して、記念撮影・土木・建築に関するクイズ・建設機試乗体験・測量体験・セメントでの工作体験等を来場した子供達に参加・挑戦してもらい土木・建築の楽しさや魅力を伝えた。

そのほか、クイズや測量体験、アンケートを答えてもらった子供達には認定証と今年度からは就労支援施設等で作成した景品をプレゼントした。

当日は天候にも恵まれ、建設業のブースにも大変多くの家族連れが訪れ、建設業をもっと身近に感じてもらった様子だった。

建設技術研修所

・登録解体工事講習会の開催結果

登録解体工事講習会を10月6日(金)午後12時20分より石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催した。

この講習会は、建設業許可に係る業種区分に「解体工事業」が新設され、これまで「とび・土工工事業」の許可を受け解体工事を行っていた建設業者で、引き続き解体工事を行う場合は、3年間(平成31年5月31日まで)のうちに、解体工事業の許可を新たに受ける必要があり、許可を受ける為の専任の技術者で実務経験のない方を対象とし、今回は石川県建設業協会の会員企業を対象に行われ、144名が参加した。

講習は一般財団法人全国建設研修センターの協賛をいただき、DVDにより行われ、最後に修了試験を実施した。また、講習後に受講者に修了証が交付された。



・2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習の開催結果

2級土木施工管理(学科・実地)講習を下記日程のとおり、石川県建設総合センターにて開催した。受講者は15名。アンケートの結果では「大変わかりやすい講習だった。」などと、高評価をいただき大変有意義な講習となった。



2級土木施工管理技術検定試験(学科・実地)受験準備講習 日程

日 時・会 場	科 目	講 師	勤 務 先
9月12日(火)	9:30~12:30	森 光明	森技術士・安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30		
9月22日(金)	9:30~12:30	清水 芳典	技術士、コンクリート診断士
	13:30~16:30		
9月27日(水)	9:30~12:30	森 光明	森技術士・安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30		
10月4日(水)	9:30~12:30	中野 哲朗	技術士、コンクリート診断士
	13:30~15:00	浦 良一	沢田工業(株) 取締役技術部長 元石川県参事(河川・港湾プロジェクト担当)
	15:00~16:30	西村 光	技術士・元JR コンサルタント 北陸支店長
10月11日(水)	9:30~12:30	森 光明	森技術士・安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30		
10月20日(金)	9:30~12:30	森 光明	森技術士・安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30		

・建設業税財務講習会の開催案内

建設業税財務講習会を(一財)建設業振興基金のご協力のもと、下記のとおり開催いたします。

日 時	平成29年11月21日(火) 13:30~16:30
場 所	石川県建設総合センター 5階 第1研修室 (金沢市弥生2丁目1番23号 TEL:076 242 1161)
演 題	~建設業の会計と税務~
講 師	丹羽 秀夫 氏(公認会計士、税理士)
主な対象者	経営者、経営幹部、経理担当、現場担当の方
受 講 料	石川県建設業協会の会員 1名 3,000円 そ の 他 1名 5,000円
振 込 先	北國銀行 泉支店(普通)72026 石川県建設業協会技術研修所
受講料は申込みと同時に振込み願います。キャンセルは講習日の5日前までとします。	
締め切り	11月7日(火)
そ の 他	この講演会はCPDS、CPD対象予定(3ユニット申請中)です。
講 習 概 要	建設業においては、収支の計上時期・計上基準、工事損失引当金の会計処理、工事に係る雑収入の処理、仮設材の取得費用など、税財務上問題となることが多い事項があります。また、交際費、寄付金、使途秘匿金、近隣対策費など、受注に関する費用が、税務上は損金と認められない場合もあります。本講習では、請負業務において留意すべき税務上の項目を解説します。

【お申込み・お問合せ先】

(一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当：本多

TEL:(076)242 1161 FAX:(076)241 9258

E-mail: honda@ishikenkyo.or.jp

石川県土木施工管理技士会だより

コマツ粟津工場及び北陸新幹線手取川橋梁工事現場見学会の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、10月16日(月)に現場見学会を開催した。

この現場見学会は、コマツ粟津工場での最新の技術についての説明、建機の実践、工場見学と北陸新幹線手取川橋梁工事の現場見学の2部構成で行われた。参加者には3ユニットのCPDSが付与される。

今回は24名の参加であったが、最新の技術を学ぶことができ、非常に有意義な現場見学会となった。



業 界 時 報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成29年分）

平成29年9月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	9	(7)31	12	(7)52	34	447
小松監督署	4	(4)10	2	(4)16	21	145
七尾監督署	2	(3)5	8	(3)15	17	100
穴水監督署	4	(5)8	0	(5)12	7	58
計	19	(19)54	22	(19)95	79	750
前年同期	17	(19)50	12	(19)79	79	675

()内は木建工事 内は死亡者数

平成29年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
7月分	618	784	78.8%	2,035	1,748	116.4%	2,653	2,532	104.8%
8月分	397	352	112.8%	2,860	3,390	84.4%	3,257	3,742	87.0%
9月分	159	363	43.8%	3,213	1,881	170.8%	3,372	2,244	150.3%
年度累計	2,701	2,695	100.2%	18,552	11,491	161.4%	21,253	14,186	149.8%
27年度累計		1,765	153.0%		17,614	105.3%		19,379	109.7%
26年度累計		2,187	123.5%		13,316	139.3%		15,503	137.1%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%	29年度	28年度	%
7月分	5,128	5,033	101.9%	1,244	2,468	50.4%	6,372	7,501	84.9%
8月分	3,484	4,386	79.4%	1,481	1,294	114.5%	4,965	5,680	87.4%
9月分	5,606	8,779	63.9%	955	1,128	84.7%	6,561	9,907	66.2%
年度累計	18,954	27,508	68.9%	6,341	9,622	65.9%	25,295	37,130	68.1%
27年度累計		22,973	82.5%		8,651	73.3%		31,624	80.0%
26年度累計		28,230	67.1%		12,743	49.8%		40,973	61.7%

合 計（民間+官公庁）

	29年度	28年度	%		29年度	28年度	%
7月分	9,025	10,033	90.0%	年度累計	46,548	51,316	90.7%
8月分	8,222	9,422	87.3%	27年度累計		51,003	91.3%
9月分	9,933	12,151	81.7%	26年度累計		56,476	82.4%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成29年11月行事予定

- 11月 1日(水) 全国建設労働問題連絡協議会(東京 鉄鋼会館)
「けんせつフェア北陸in新潟2017」
(新潟 新潟市産業振興センター)
「2017建設リサイクル技術発表会・技術展示会」
(新潟 新潟市産業振興センター)
- 2日(木)「けんせつフェア北陸in新潟2017」
(新潟 新潟市産業振興センター)
「2017建設リサイクル技術発表会・技術展示会」
(新潟 新潟市産業振興センター)
- 6日(月) 正副会長会議 (KKR ホテル金沢)
保証事業石川協議会定例会(17:00懇談会)
(KKR ホテル金沢(石亭))
- 8日(水) 地震・津波を想定した土木部防災訓練
秋の叙勲祝賀会
(東京 ザ・プリンスパークタワー東京)
- 9日(木) 市町要望(～10日) (能登地区)
土木委員会工事点検パトロール
(加賀地区～奥能登地区)
- 13日(月) 国土交通省との意見交換会 (石川県庁1406)
- 14日(火) 石川県産業教育振興会 研究協議会
(石川県地場産業振興センター)
秋の褒章祝賀会
(東京 ザ・プリンスパークタワー東京)
- 15日(水) 全建 技術研究発表会 (東京 鉄鋼会館)
- 16日(木) 建退共中部ブロック会議
(三重 松阪フレックスホテル)
- 17日(金) 地区協会専務事務局長会議・合同研修会
(七尾市)
石川県構造物解体協会19周年式典
(金沢東急ホテル)
- 20日(月) 土地改良委員会 現場研修会
(白山市民交流センター)
東日本建設業保証 役員・参与懇談会
(東京 パレスホテル東京)
第37回石川県交通安全県民大会
(石川県地場産業振興センター)
経済講演会並びに交流会(中央会)
(ホテル日航金沢)
- 21日(火) 市町要望(加賀地区)
土木委員会 県土木部との意見交換会
(ホテル金沢)
- 22日(水) 建設業法令遵守に関する講習会
(石川県地場産業振興センター)
全建協連 専務・事務局長会議
(東京 東海大学校友会館)
羽咋工業高校意見交換会事前打ち合わせ
(羽咋都市建設業協会)
- 24日(金) 全建 理事会・会長会議 (東京 経団連会館)
- 27日(月) 会報編集委員会
北陸防災連絡会議専門部会 (北陸地方整備局)
建設事業におけるICTの活用推進に向けた意見
交換会 (石川県庁)

- 28日(火) 建設技術報告会
(新潟 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)
広報・研修委員会 (ホテル金沢)
石川県建築士事務所協会 創立40周年記念式典
(ホテル日航金沢)
- 29日(水) 事務局打合せ
土地改良委員会 役員会
北陸地方整備局との意見交換会
(ホテル日航金沢)
- 30日(木) 建築委員会 北陸地方整備局営繕部建築工事意
見交換会 (ホテル日航金沢)

平成29年12月以降の行事予定

- 12月 4日(月) 正副会長会議
8日(金) 土木委員会工事点検パトロール班長会議(後期)
(金沢市内)
- 12日(火) 石川県景観審議会現地調査 (県内)
- 13日(水) 全国技士会 専務局長会議
(東京 東京国際フォーラム)
キャリアアップシステム説明会 (金沢市内)
- 14日(木) 全建 理事会・地域懇談会意見交換会等
(東京 経団連会館)
- 19日(火) 理事会・知事懇談会
(金沢ニューグランドホテル)
- 20日(水) 土木委員会金沢河川国道事務所と懇話会との意
見交換会 (金沢市内)
- 22日(金) 建築委員会 全体会議 (加賀市)
- 平成30年
1月19日(金) 協会・組合 新年会 (ホテル日航金沢)
26日(金) 土木委員会 新年会 (加賀温泉郷)
- 2月16日(金) 全建 理事会・施設見学会 (東京 鉄鋼会館)
- 3月 8日(木) 北陸3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会
(新潟市 アートホテル新潟)
- 15日(木) 全建 理事会・協議委員会 (東京 経団連会館)
- 23日(金) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 11月 2日(木) 青年：幹事会
- 10日(金) 常任理事会
建築：金沢市幹部職員との意見交換会
- 13日(月) 青年：情報発信セクション
- 14日(火) 役員海外視察研修(～18日)
- 20日(月) 現場責任者研修会
- 21日(火) 土木：役員会
- 22日(水) 金沢市との意見交換会
- 24日(金) デザインアワード2次審査
青年：金沢市立工業高等学校建築科2年生との意見交換会
- 29日(水) 第22回ボウリング大会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 11月13日(月) 建災防加賀分会 視察研修
- 16日(木) こども除雪車ふれあい教室
- 21日(火) 建設産業市町要望

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 11月 2日(木) 能美市との意見交換会
- 14日(火) 理事会
- 15日(水) 加賀協会との意見交換会
- 16日(木) 献血奉仕活動
- 17日(金) 土木研修会
- 29日(水) 建築委員会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 11月 8日(水) 県土木部防災訓練(津波地震)
- 15日(水) 石川土木広報活動協力
- 22日(水) 親睦ボウリング大会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 11月 8日(水) 「小学生の見た建設の絵」入賞作品展示(宝達志水町「さくらドーム21」)(～15日)
- 15日(水) 「小学生の見た建設の絵」入賞作品展示(富来活性化センター)(～22日)
- 22日(水) 建設機械試乗会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《お知らせ》

- 12月14日(木) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 11月 5日(日) 奥能登土木委員会研修旅行(～7日)
- 8日(水) 平成29年度 地震・津波を想定した県土木部防災訓練
- 9日(木) 県協会土木委員会 工事点検パトロール市町要望(～10日)

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 11月 5日(日) 奥能登土木委員会(～7日)視察研修
- 8日(水) 珠洲市道路除雪対策会議
- 9日(木) 監理技術者講習
- 14日(火) 理事会

総合資格学院は石川県建設業協会と企業提携している建設系資格スクールです。

会員の皆さまは、当学院の対象講座を**特別価格**で受講することができます!

平成29年度

1級・2級建築施工管理講座 開講!

1級・2級土木施工管理講座

→ 受講料・開講日やご質問など下記「金沢校」までお問い合わせください!

願書

取り寄せサービス実施中

- ・2級建築施工管理技士
- ・1級土木施工管理技士
- ・2級土木施工管理技士

日本で最も多くの1級建築士を輩出し続けている学校です。

*平成24～28年度(過去5年累計)1級建築士設計製図試験 合格者合計19,562名中、当学院受講生10,636名、全国合格者占有率54.4%。平成28年度1級建築士設計製図試験 全国合格者3,673名中、当学院現役受講生1,957名、全国合格者占有率53.3%。



総合資格学院

学院長
岸 隆司



金沢校

TEL.076-237-6811

金沢市鞍月5-181 AUBEビル 2F

スクールサイト

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

コーポレートサイト

www.sogoshikaku.co.jp

Facebook 「総合資格 fb」で検索!